第2回業務部長会議を開催

2026労働協約改訂に向けて意思統一を図る

ＪＲ西労組は、2026年6月12日（金）、西阪急ビル地下会議室において、第2回業務部長会議を開催し、各地本・総支部代表者含め40名が出席した。

挨拶を行う羽野中央執行委員長

冒頭、羽野中央執行委員長が、①熱中症対策、②北陸新幹線敦賀以西ルート、③株主総会、④美祢線をはじめとする地方ローカル線、⑤2026労働協約改訂について挨拶を行った。

経過では、2025年度実施施策、車両改善要求、諸課題、医療部門、各種施策の検証について報告がなされ、確認と共有を図った。

議題では、2026労働協約改訂の取り組みについて、休暇制度、育児・介護関係、フレックスタイム制度、人間ドックの年齢引き下げ、通勤関係と、組合員から寄せられた多くの課題と改善項目が共有された。また、2026年度実施主な改善施策への対応、時間外労働をはじめとする各種業務課題への対応・検証については、各地方・総支部、協議会からは要求集約時期の前倒しや、区所の大単位化による課題や各エリアで発生している課題が報告された。

また、2026労働協約改訂に対してＪＲ西労組は、引き続き、持続的に組合員が働き続けられる環境づくりに向けて、会社と議論を行っていく。

三日月大造氏 滋賀県知事へ再選

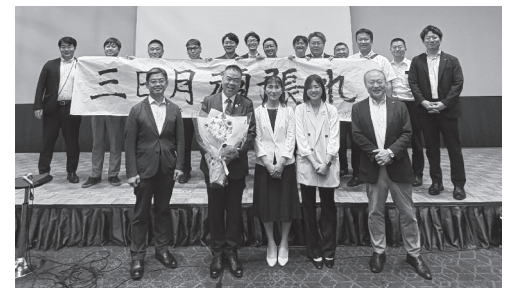
297,036票を獲得し 4期目の当選を果たす

任期満了に伴う滋賀県知事選挙が、7月5日（日）投開票を迎えた。三日月大造候補は、17日間にも亘る選挙期間中、「移動を支える財源、子育て、福祉の充実、地域の活性、観光振興」を訴えたが、大雨による災害発生時には、災害対応を優先する姿を見せた。

自らの政治姿勢を訴えて回る三日月候補

また、選挙期間中は、YouTube「元気チャンネル」で、一日の活動報告や地域との対話を配信した。

さらに、三日月大造知事の3期12年間の実績と、「①ひとづくり②ひとの健康③自然の健康④社会と経済の健康⑤健康しがの基盤づくり⑥次代の健康」の滋賀県の健康を考えた訴えが有権者に届き、297,036票を獲得し4期目の当選を果たした。


ＪＲ西労組の仲間と当選の喜びを分ち合う

引き続き、私たちと政治との関わりの重要性について理解を深めるとともに、組合員の投票行動や推薦候補者の浸透など、日頃から政治への理解と参加を広げる運動を進めていくこととする。

また、来る第21回統一地方選挙においても、私たちＪＲ西労組公認候補の必勝に向けて、積極的な取り組みを要請する。

2026年度 各地本・総支部定期大会日程

■地本・総支部開催大会	■開催日・時間		■開催場所
第35回 定期大阪地方本部大会	2026年8月7日（金）	10:30～	ホテルグランヴィア大阪
第34回 定期神戸地方本部大会	2026年8月7日（金）	10:30～	神戸三宮 東急REIホテル
第36回 定期金沢地方本部大会	2026年8月21日（金）	10:30～	ITビジネスプラザ武蔵6階交流室
第35回 定期京都地方本部大会	2026年8月21日（金）	10:30～	アスニー山科
第36回 定期米子地方本部大会	2026年8月21日（金）	10:15～	米子コンベンションセンター
第37回 定期広島地方本部大会	2026年8月22日（土）	10:00～	ホテルグランヴィア広島「悠久」
第36回 定期福知山地方本部大会	2026年8月22日（土）	10:30～	市民交流プラザふくちやま
第36回 定期福岡地方本部大会	2026年8月22日（土）	10:30～	リファレンス駅東 4階
第37回 定期岡山地方本部大会	2026年8月22日（土）	12:00～	岡山国際交流センター 8階
第34回 定期本社総支部大会	2026年8月23日（日）	10:00～	CIVI北梅田研修センター
第36回 定期中国JRバス地方本部大会	2026年8月28日（金）	13:00～	安芸区民文化センター
第37回 定期和歌山地方本部大会	2026年8月29日（土）	12:00～	JAビル 2階ABC
第36回 定期西日本JRバス地方本部大会	2026年9月3日（木）	12:20～	CIVI北梅田研修センター
第4回 中国地方協議会定期総会	2026年9月3日（木）	13:30～	周南市立徳山駅前図書館 第2交流室
第20回 新幹線協議会定期総会	2026年9月5日（土）	13:00～	大阪コロナホテル
第16回 近畿協議会定期総会	2026年9月11日（金）	16:00～	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

ロマンは実を結ぶ

中国JRバス地方本部 エキキタ分会

No.387

エキキタ分会の歩みと、その先へ

中国ＪＲバス地方本部エキキタ分会は、貸切営業支所と駅営業所を含む職場で構成されています。

観光・インバウンドツアー、平和公園や宮島を訪れる修学旅行、そしてスポーツ分野では西日本ＪＲ野球部、サンフレッチェ広島、ドラゴンフライズなど、多岐にわたる貸切業務を担っております。

これらの仕事は、表に出る華やかさの裏側で、安全・正確・確実を積み重ねることによって成り立っています。一つひとつの業務は地味であっても、その積み重ねが信頼となり、次の仕事へと繋がってきました。

エキキタ支所は、2019年7月に開設されましたが、決して、最初から整った環境ではなく、体制づくりや業務の確立、職場としての一体感の醸成など、現場で試行錯誤を重ねながら歩んできました。

その後、2024年1月の本社移転に伴い、貸切営業支所となりました。そうした積み重ねの節目であり、次の段階へ進むための転換点でもありました。

また、昨年度の貸切部門は、非常に好調な一年となりました。

前年度をさらに上回るペースで推移し、9月に山陰線の災害代行輸送が終了した後も、一般貸切が好調を維持しており、その結果、過去最高の売り上げを更新する見込みとなりました。

しかし、その成果は決して容易に得られたものではありません。乗務員不足という厳しい状況の中、すべてのご依頼をお受けできない場面もありました。

それでも、今後につながる仕事を何とか形にしようと、全社を挙げて要員を生み出し、調整を行い、現場が一丸となって対応してきました。その一つひとつの判断と努力が積み重なり、貸切部門は当社全体の業績を大きく牽引する存在となりました。

一方、駅営業所においても確かな変化が進んでいます。新体制のもと、業務の見直しが行われ、作業時間の短縮や業務分担の整理が進みました。

また、DXの導入による業務の効率化により、これまで時間と手間を要していた作業が改善され、職場環境は確実に変わりつつあります。こうした変化は、単なる効率化や合理化ではありません。

時代の変化に対応しながら、現場で働く一人ひとりが無理なく業務に向き合い、安心して働き続けるための取り組みです。慣れ親しんだやり方を変えることには戸惑いもありましたが、現場の声を大切にしながら進めてきたことで、少しずつ手応えが感じられるようになってきました。

2026年、エキキタ分会が掲げる漢字一文字は「偶」です。

貸切営業支所も駅営業所も、人と人との関わりなしには成り立ちません。お客様との出会い、エージェント様との信頼関係、関係先の皆様との連携、そして職場の仲間との支え合い。それぞれは偶然のようでありながら、積み重ねが必然となり今の成果へとつながっています。

テーマである「実を結ぶ」とは、結果だけを誇る言葉ではありません。安全運行への意識、日々の小さな改善、仲間への声かけ。変化の中でも責任を持って仕事に向き合い続けた時間そのものが、少しずつ実となり、今、確かな形として表れ始めています。

労働組合は、会社があってこそ存在します。だからこそエキキタ分会は、働く環境を守り、現場の声を丁寧にすくい上げながら、結果として会社の信頼と仕事を支える存在でありたいと考えています。

2026年も、エキキタ分会は「安心・安全」を基本に、貸切営業支所と駅営業所が互いに支え合い、これまで積み重ねてきた取り組みを次の確かな実りへと結びつけてまいります。

〈中バス地本発〉

川柳　第25回文化・文芸作品コンクール／川柳・標語部門　［ 前を向け　失くしたものだけ　数えるな ］　北川 智子 さん（金沢地本・金沢新幹線列車区分会）